

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称	[5] 東京都台東区立一葉記念館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31			
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2) 類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所					
(3) 経営状況	22年度決算 歳入 804,726,858円 歳出 762,325,465円 収支差額 42,401,393円 (区返納金22,401,393円次期繰越金 20,000,000円)					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区竜泉 3-18-4					
(2) 設置目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を基に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。					
(3) 利用者	区民ほか					
(4) 開館日・時間	開館日：休館日（月曜日／12月29日～1月3日／特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5) 規模	延べ床面積861.04㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階、塔屋、展示室、 収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、 小会議室					
(6) 人員体制	7名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）区政嘱託員（1）専門員（3） 特例嘱託員（1）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。文化ボランティアガイド事業。					
(2) 自主事業	一葉祭、施設特別展／企画展、朗読サロン、くずし字講座 手しごと「紙と布でつくる小箱」					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	23,750,000	28,446,000	26,460,000	24,132,000	19,684,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	23,750,000	28,446,000	26,460,000	24,132,000	19,684,000
決算	委託料	14,979,125	23,734,870	18,132,017	16,286,787	12,614,691
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	14,979,125	23,734,870	18,132,017	16,286,787	12,614,691
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
開館日数	日	301	294	297	300	
特別展・企画展実施数	回	2	2	3	3	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度	
入館者数	人	23,000	24,291	23,774	21,041	

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

文化ボランティアガイド2期生の募集を行いガイド登録者数を増やすことで、活動内容の拡充を図った。また、貴重な資料の収集や、特別展・企画展の展示内容に合わせて館内の装飾を行うなど、館の魅力の向上を図った。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[3]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[3]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.3]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[3]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	分かりやすく工夫された展示方法や朗読サロンの実施、一葉祭で命日を含む4日間を無料公開とするなど、自主的な取り組みが積極的に実施されている。また、一葉直筆短冊幅などの貴重な資料の収集に努めた。
(2) 施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされている。また、修繕や補修についても、常に区と連絡を取りながら適切に行い、施設の維持管理に努めている。
(3) 利用者の満足度	S	文化ボランティアガイドによる館内の案内や一葉祭で「たけくらべ」ゆかりの地めぐりを実施し、お客様から大変好評を得ている。また、来館者への更なるサービス向上を図るため、文化ボランティアガイド2期生の募集・育成を行った。
(4) 歳入歳出	S	予算については概ね適正に執行されている。また、委託項目の見直しを行なうなど、経費削減のための取り組みを積極的に行っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	施設の特性を活かした自主的な取り組みや文化ボランティアガイドとの連携など、施設の設置目的に沿った適切な管理運営が行われている。
-----------	---

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

魅力ある施設を目指すとともにより多くのお客様に来館していただくため、貴重な資料の収集や展示方法の工夫、積極的なPRに取り組んでいく。